

質問内容	答弁内容
<p>ニ こどもファスト・トラックについて</p> <p>（一）赤ちゃんのほっとステーションについて これまでも北海道赤ちゃんのほっとステーションという、子育てが安心しておむつ替えと授乳ができる場所を設置する、こうした取組があります。第四期北の大地☆子ども未来づくり北海道計画を見ますと、この取組の令和6年度の目標は、全市町村での登録となっているところです。まずは、赤ちゃんのほっとステーションの現在の状況をお聞かせください。</p> <p>（二）－ 欠</p> <p>（三）道の取組状況について 6月22日、知事が会見しておりますけれども、今回、こども家庭庁では、子育て中の方々を応援する企業・個人・自治体などにこどもまんなか応援サポーターになっていただいて、子育ての気運を醸成していること、そして、北海道でもこのサポーターになるということが宣言されました。そして、こうしたムーブメントを広げるために、国は、妊娠中や子ども連れの方の優先窓口を設置することもファスト・トラックを進めるということでした。北海道では、優先窓口だけではなくて、優先駐車場、授乳室やおむつ替えの場所を確保するなど全ての道立施設で取り組んでいくこととしまして、137施設で先行しているということが、知事の会見の中で明らかになりました。これまでの北海道赤ちゃんのほっとステーションの取組状況は道半ばという中で打ち出された、このこどもファスト・トラックの取組です。 道が進めるファスト・トラックでは、先行的に137か所の道立施設で実施しているということなんですけれども、優先窓口、優先駐車場、授乳室やおむつ替えの場所の確保について、それぞれどのような実施状況か教えてください。</p> <p>（四）授乳室等の設置について 授乳室やおむつ替えの場所が69か所に設置ということなんですけれども、取組内容としては、これまで行われてきた北海道赤ちゃんのほっとステーションと類似の取組であるというふうに思います。それにも関わらず、道立施設137か所全てに設置できていない理由を教えてください。</p> <p>（五）授乳室等の未設置施設への対応について 施設によって、様々な事情があるということで、</p>	<p>【子ども政策企画課長】 赤ちゃんのほっとステーションの登録状況についてでございますが、道においては、親子が安心して外出できる環境づくりを進めるため、授乳やおむつ交換ができる設備を有する施設を北海道赤ちゃんのほっとステーションとして登録する事業を実施しているところでございます。 令和4年度末時点における登録施設数は354か所、登録市町村数は、91市町村となっており、全市町村数の約5割程度となっているところでございます。</p> <p>【子ども政策企画課長】 道の取組状況についてでございますが、道では、こどもファスト・トラックの取組について、妊娠中の方や子ども連れの方の利用が想定される137の道立施設で、優先窓口のほか、それぞれの施設状況に応じて、優先駐車場や授乳室等の確保などの取組を先行実施しており、ベビーカー等の運搬補助などに配慮することを含めまして、6月末時点で、優先窓口については137か所の全てで、また、優先駐車場は52か所、授乳室等は69か所で、それぞれ実施しているところでございます。</p> <p>【子ども政策企画課長】 授乳室等の設置についてでございますが、こどもファスト・トラックを実施している道立施設については、優先窓口や優先駐車場のほか、授乳室の設置など、それぞれの施設状況に応じた取組を行っており、子ども連れの方のほか、妊娠中の方の利用も想定した取組となっているところでございまして、授乳やおむつ替えの両方を有する施設の促進を目指すほっとステーションとは取組内容が異なっているところでございます。</p> <p>【子ども政策企画課長】 授乳室等の設置についてでございますが、授乳室</p>

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p>ほっとステーションとこのファスト・トラックで少し違うんだということなんだと思うんですけど、ただ、こどもファスト・トラックについて、知事がおっしゃる子育て応援の気運醸成のためには、北海道自身がどんなふうに取り組んでいくかということが、やっぱり問われるんだと思います。</p> <p>本議会の諸会派に対する知事の答弁でも、少子化は本道が直面する喫緊の課題であるとか、本道の少子化は一刻の猶予も許されない、待ったなしの課題というふうにおっしゃってしまっていて、そのとおりでというふう思うんですね。そういう中で打ち出されたこどもファスト・トラックの取組ですから、国が掲げた優先窓口だけではなく、駐車場や授乳室、おむつ替えの場所等まで設置するとおっしゃっていますから、早急に実施していただきたいというふうに思います。</p> <p>ただ、このこどもファスト・トラック、非予算の事業、お金ついていないんですね。やはり、これでは、かけ声倒れになってしまうんじゃないかというふうにも思うわけですが、授乳室やおむつ替えの場所の設置は、いつまでを目標に取組を進めていくのか、予算をつけずに実施できるものもありますけれども、しかし、授乳室、おむつ替えの場所の確保は、昨今、子ども連れのお父さんもですね、おむつ替えの場所が見つからなくて困っているとうふう聞くところでもありますし、それなりにお金もかかると思います。しっかりと予算をつけて取組を進めるべきだと思うんですけども、道の所見を伺います。</p> <p>再一（五）</p> <p>特に赤ちゃんを連れて外出される方にとっては、授乳室やおむつ替えの場所が確保されているということは助かるということもありますし、安心でもあると思います。これこそ、北海道がファスト・トラックとしてやるべきではないかと私は思っているんですね。おむつ替えというのは、2歳、3歳まで必要な場合もありますので、こうした場所の確保、設置する必要性についての認識を伺います。そして、ファスト・トラックを全ての道立施設において実施していく上で、授乳室等の設置をどのように進めていくのか併せて伺いたいと思います。</p> <p>是非ですね、本当に子育て支援が喫緊の課題だということは、広く認識されている、共有されているものというふうに思いますので、推進の方、よろしく願いいたします。</p>	<p>やおむつ替えの設備整備は、施設構造等にもよるものであり、道としては、お子様連れの方が授乳室やおむつ替えの設備が設置されていない道立施設を利用される場合につきましては、来庁される窓口にお声がけいただければ、その時に使用していない会議室など、授乳やおむつ替えに適切な場所を臨機応変にご案内させていただくこととしており、お子様連れの方々の気持ちに寄り添った対応に取り組んでまいります。</p> <p>【子ども政策企画課長】</p> <p>授乳室についてでございますが、道が進めているこどもファスト・トラックは、優先案内を基本としつつ、それぞれの施設状況に応じて、駐車場や授乳室等の設置に取り組んでいるところでございます。</p> <p>各施設では、お困りのことがあれば職員へお声がけをいただくよう掲示しており、仮に、お子様連れの方が授乳室のない施設で、その利用を希望される場合は、使用していない会議室など、適切な場所をご案内させていただくこととしており、今後とも、お子様連れの方々の気持ちに寄り添い、対応してまいります。</p>